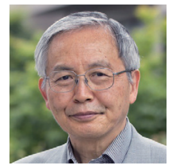
第1分科会　中小企業を取り巻く情勢　（中同協）

「中小企業が主役」の日本経済へ　～情勢をどう読み企業経営と同友会運動に生かすか～



〈報告者〉
嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科研究科長
三井 逸友 氏

報告者プロフィール
慶應義塾大学経済学部卒業、慶應義塾大学大学院経済研究科博士課程修了。駒澤大学経済学部教授などを経て、現在嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科長。横浜国立大学名誉教授、日本中小企業学会元学長(2007～2010年)。
主な著書：『21世紀中小企業の発展過程―学習・連携・承継・革新』(2012、同友館)、『中小企業政策と「中小企業憲章」～日欧比較の21世紀』(2011、花伝社)など

イギリスがEU離脱を決定するなど、世界情勢はめまぐるしく変化しています。グローバリゼーションがすすみ、世界情勢の変化は中小企業にもすぐに影響が及ぶようになりました。本分科会では情勢をどう読み、企業経営に生かすかという観点から、三井氏より情勢を見る視点と欧州における中小企業支援の事例を報告いただきます。あるべき企業と地域の姿を探り、2010年に閣議決定された中小企業憲章の精神に基づく政策展開を考えます。

第2分科会　経営環境改善　（中同協）

強靭な経営体質になるために　～中小企業憲章の立場から税制や金融制度を考える～

〈報告者〉
(株)紀之国屋
会長
中村 高明 氏

報告者会社概要
(株)紀之国屋
●設立：1977年8月10日
●社員数：277名(グループ)
●パート・アルバイト：1名
●資本金：4,000万円
●年商：23億円(グループ)
●事業内容：機械器具工具販売・金属加工・省力機器設計
●URL http://www.kinokuni-ya.ne.jp/

外形標準課税の適用拡大などが政府で検討される中、中同協九州・沖縄ブロックでは、税制についての学習討議用資料「公平な税制をめざして」を作成し、学習活動を進めています。一方、1990年代の金融機関の貸し渋り・貸しはがしに対して全国の同友会は金融アセスメント法制定運動を展開。最近は、経営者保証ガイドライン、金融仲介機能のベンチマークの策定など金融制度の改革も進みつつあります。同ブロックや中村氏の実践をもとに、税制や金融制度のあり方について考えます。

第3分科会　新たな仕事づくりで付加価値を高める　（山口）

自動車リサイクル業で世界の最先端をめざす！　～人財と共に攻めのITで新たな市場創造～

〈報告者〉
(株)シーパーツ
代表取締役
吉川 日生 氏

報告者会社概要
(株)シーパーツ
●設立：1988年3月30日
●社員数：86名
●資本金：1,000万円
●年商：14.2億円
●事業内容：自動車中古部品販売、Web開発、ソフト販売
●URL http://www.seaparts.jp/

〈アドバイザー〉
山口大学 准教授
阿部 新 氏

金属相場の低迷から、同業他社が流通ネット販売に活路を求め成功する中、守りの経営になり波に乗り遅れた苦い経験をしてしまいます。危機回避のために海外へ活路を見いだそうと、国内外での販売・情報収集する中で、自動車を産廃にしない環境経営をめざしたことで、新卒採用した社員が育ち、新事業の核となる中で自動車リサイクル用ロボットの開発、自動車リサイクル工場のIoT化の構築が生まれます。自動車のリサイクルから始まった小さな会社が、注目を集める最先端リサイクル会社へと変貌を遂げる過程を報告します。

第4分科会　海外も視野に新市場創造　（三重）

国が変われば市場も変わる、そこに隙間とチャンスがある！　～グローバルニッチトップ戦略～

〈報告者〉
ミナミ産業(株)
代表取締役
南川 勤 氏

報告者会社概要
ミナミ産業(株)
●設立：1968年11月1日
●社員数：20名
●パート・アルバイト：8名
●資本金：1,000万円
●年商：6億円
●事業内容：豆腐製造関連機器の設計、製造、販売　食品関連機械の設計、製作　大豆等の微粉砕加工
●URL http://www.minamisangyo.com/

〈アドバイザー〉
公益財団法人三重県産業支援センター 販路開拓・地域資源課 国内外販路開拓班販路開拓コーディネーター
高垣 和郎 氏

豆腐市場の縮小と地域豆腐屋の減少から廃業寸前のところで継承した南川氏。他社との差別化からニッチトップを目指す戦略に転換し、卓上鍋『萬来鍋』やおからの出ない大豆丸ごと豆腐などを展開し、いまは豆腐ビジネスの多角化経営を進めています。国内に留まらず、和食ブームを追い風にアメリカ・フランス・中国などに進出。日本とは異なる食文化と市場へ積極的に挑戦し、着実に現地市場に浸透を図る南川氏の取り組みから、中小企業の海外展開の可能性を学びます。

第5分科会　規制緩和や不公正取引を乗り越えるために　（福岡）

人口減少社会で中小企業が存続するために、必須の経営戦略とは?　～価格競争から価値競争へ!自社の競争優位性をどのようにつくるか?～

〈報告者〉
(株)シティーライン
代表取締役社長
田浦 通 氏

報告者会社概要
(株)シティーライン
●設立：1983年10月3日
●社員数：45名
●パート・アルバイト：80名
●資本金：2,500万円
●年商：20億円
●事業内容：九州地域専門の輸配送と在庫管理の物流事業です！
●URL http://www.city-line.co.jp

〈アドバイザー〉
福岡大学商学部 教授
就職・進路支援センター長
合力 知工 氏

人口減少社会で経済規模の縮小と人材不足や人件費高騰は必至、そのようななか中小企業が存続するためには競争優位性のある商品やサービス開発は絶対条件である。また社員の成長と会社の発展は不離一体であり、新たな価値の創造と推進には社員のスキルアップと人間的成長が欠かせません。そこで社員教育を通して課題とめざす方向性を共有し、高付加価値・高品質・高単価構造で労働生産性向上をめざす取り組みを報告します。

第6分科会　持続可能な企業づくり・地域づくり　（鹿児島）

衰退する業界でいかに活路を見いだしていくか　～自立と自律をもった、ゆるがない経営基盤で道を拓く～

〈報告者〉
(株)さかうえ
代表取締役社長
坂上 隆 氏

報告者会社概要
(株)さかうえ
●設立：1995年4月
●社員数：41名
●パート・アルバイト：80名
●資本金：5,200万円
●年商：5億円
●事業内容：有機循環型の土を活用した契約栽培事業、牧草飼料事業、農業IT化事業
●URL
http://www.sakaue-farm.co.jp/

〈アドバイザー〉
九州大学 大学院
農学研究院 教授
南石 晃明 氏

家業である農家を法人化して22年。30代で仕事は会得するが、不安は募るばかり。同友会に入会し、求人・共育・経営指針の実践により経営不安が解消されると同時に、業績も倍増しました。同友会には社員も積極的に参加し、経営指針も社員とともに作成。衰退していく業界の現状を「新しい農業価値の創造」の理念のもと、ITをフル活用し暗黙知を形式知化し、見える化を実践。全社員で自立した意志と自律した行動のマネジメントスキルの習得をめざしています。「40代で九州大学博士課程で学んだことの実践」を最後の仕事と決めた坂上氏の報告から、持続可能な企業づくりと地域づくりについて学びあいます。

第7分科会　安心して働ける会社か　～人を生かす経営の実践～　（中同協）

労働環境の改善を経営指針に位置づけて　～全社一丸の企業づくりのために～

〈報告者〉
香川県ケアマネジメントセンター(株)
代表取締役
林 哲也 氏

報告者会社概要
香川県ケアマネジメントセンター(株)
●設立：1999年4月20日
●社員数：34名(グループ合計)
●パート・アルバイト：9名(グループ合計)
●資本金：1,000万円
●年商：2億円(グループ合計)
●事業内容：ケアプラン作成、介護保険に関するコンサル業務
●URL http://www.k-care.co.jp/

〈報告者〉
(有)京美容室
代表取締役
関原英里子 氏

報告者会社概要
(有)京美容室
●設立：1993年1月12日
●社員数：7名
●パート・アルバイト：15名
●資本金：300万円
●年商：9,500万円
●事業内容：美容室、エステ、ネイル、ブライダル美容
●URL
http://www.kyo2.info/top/

中同協経営労働委員会「就業規則のガイドライン」作成プロジェクトでは、労働環境の整備を通した労使の信頼関係の強化などをめざし、論議を進めています。林氏からはプロジェクトの取り組みや調査で明らかになった企業づくりの課題などを報告。関原氏からは自社の実践報告として、経営指針作成後、残業手当など各種手当の充実や結婚・子育てしやすい環境づくりなど、労働環境の整備に積極的に取り組み、スタッフの定着率の向上などにつながった取り組みを報告します。

第8分科会　高齢化社会への対応　（岡山）

「人間らしく生きる」持続可能な社会のために中小企業は何ができるか　～顧客が求めているのは「薬」ではなく「健康」～

〈報告者〉
(株)マスカット薬局
代表取締役
髙橋 正志 氏

報告者会社概要
(株)マスカット薬局
●設立：1998年8月1日
●社員数：97名
●パート・アルバイト：6名
●資本金：1,000万円
●年商：29億円
●事業内容：岡山県内に調剤薬局14店舗を展開。
●URL
http://www.muscat-pharmacy.jp/

〈アドバイザー〉
社団法人日本病院会常任理事
(一財)操風会 岡山旭東病院・院長
土井 章弘 氏

社会保障制度の破綻が危惧される昨今、医療分野でも若年層の負担が増えつつあります。髙橋氏は、顧客が求めているのは「薬」ではなく「健康」であると考え、薬に依存しない地域の健康寿命延伸を理念に明示。しかしそれは自社の売上減少にも繋がりかねない厳しい覚悟を伴うものでした。誰もが人間らしく生きるために欠かせない「自然環境」「社会的インフラ」「医療や教育などの社会制度」の健全な維持のために中小企業は何ができるのか。同社の事例を通じて、持続可能な社会づくりについて考えます。

第9分科会　求人難への対応　（京都）

共同求人活動と地域活動の複合力で求人難を乗り越えよう　～産学公連携で中小企業の魅力発信～

〈報告者〉
京都エレベータ(株)
代表取締役
田中 陽一 氏

報告者会社概要
京都エレベータ(株)
●設立：1983年12月15日
●社員数：54名
●資本金：1,000万円
●年商：6億円
●事業内容：エレベータ・エスカレータ・小荷物専用昇降機・多段式駐車装置の保守点検管理業務
●URL
http://www.kyoto-elevator.com

〈報告者〉
Medico-tec(株)
代表取締役
宿野 秀晴 氏

報告者会社概要
Medico-tec(株)
●設立：2003年9月2日
●社員数：4名
●パート・アルバイト：1名
●資本金：300万円
●年商：1.5億円
●事業内容：科学館・博物館の展示装置、商業施設やショウルームの演出装置などの設計制作施工業務
●URL
http://www.medico-tec.co.jp

〈アドバイザー〉
京都府立大学京都政策研究センター特任准教授
福知山公立大学地域経営学部准教授
杉岡 秀紀 氏

企業づくりを土台とした同友会運動の総合力で求人難を乗り越える試みの報告です。共同求人活動での大学との関係はもちろん、支部を窓口とした地域活動で大学等と、政策委員会は行政と連携して教育研究機関に中小企業への理解を促す活動をすすめています。授業やキャリア教育への講師派遣はもとより、地域調査活動で大学と協力、PBL(課題解決型教育)への会員企業の協力、京都市の地方創生総合戦略で同友会提案プロジェクトが位置づけられるなどを報告し、課題解決の方向を検討します。

第10分科会　エネルギーシフト　（岩手）

私たちがなぜ、エネルギーシフトに取り組んできたか　～「岩手エネルギー2050年ビジョン」その先にめざす姿とは～

〈報告者〉
信幸プロテック(株)
取締役会長
村松 幸雄 氏

報告者会社概要
信幸プロテック(株)
●設立年：1987年5月1日
●社員数：32名
●資本金：1,000万円
●年商：5億円
●事業内容：一般・大型空調設備施工保守、トータルエンジニアリング、住宅設備部「住む～ず」、地球環境保護業務
●URL http://www.srs.co.jp/

〈報告者〉
(株)高田自動車学校
代表取締役
田村 満 氏

報告者会社概要
(株)高田自動車学校
●設立年：1968年
●社員数：100名
●資本金：1,500万円
●年商：10億円
●事業内容：自動車学校、(4校経営)技能講習センター、自動車整備業、損害保険代理店、農業
●URL
http://takata.si-dsg.com/

〈報告者〉
岩手県中小企業家同友会
事務局長
菊田 哲 氏

報告者団体概要
岩手県中小企業家同友会
●設立年：1991年11月
●会員数：390名(2016.11.1現在)
●URL
http://iwate.doyu.jp/

〈アドバイザー〉
エネルギーアドバイザー
Dotプロジェクト事務局長
長土居正弘 氏

エネルギーシフトとは、エネルギー問題を論じるのではなく、地域の中小企業ができるサイズのエネルギーシフトを考えることです。岩手同友会では、東日本大震災をきっかけにエネルギーシフト研究会を立ち上げました。これまでに3回のスイス・ドイツ・オーストリア欧州視察を実施し、のべ36名が海を渡りました。研究会の立ち上げに始まり、県条例・基本計画への具体策の提起、産官学および企業での実践の広がりと、地域での試みは厚みを増しています。その積み上げは、持続可能な地域の未来の姿をビジョンに掲げるまでになりました。この間の取り組みとこれからの展望を丁寧に紐解きます。

第11分科会　あなたは経営者保証をはずせますか　（愛媛）

『人を生かす経営の総合実践』を貫いたからこそ見えてきた展望　～経営指針の成文化、共有化は経営者保証免除の第一歩～

〈報告者〉
NPO法人 家族支援フォーラム
理事長
米田 順哉 氏

報告者会社概要
●設立：2003年10月27日
●社員数：23名
●パート・アルバイト：13名
●資本金：NPO法人のため無し
●年商：2.38億円
●事業内容：障害福祉制度に則った福祉サービス業
●URL
http://www.h7.dion.ne.jp/~kazoku/

〈アドバイザー〉
弁護士法人 たいよう 代表
愛媛県民事再生機構 委員
(社)事業再生支援協議会 四国支部長
吉村 紀行 氏

『親亡き後の障害者の生活保障』に取り組むため創業した米田氏。事業は拡大するも無計画な採用と資金調達で4期連続の赤字、さらに現場を仕切る幹部社員が同時に退職する組織崩壊の危機に直面します。どん底の危機から経営者保証免除の道筋が付くまで、短期間で業績をV字回復させたのは、改めて社員とともに成文化し共有した経営指針を軸とする「人を生かす経営の実践」でした。会員で弁護士の吉村紀行氏をアドバイザーに迎え、経営者保証免除の問題について学びあいます。

第12分科会　【見学】　◎申込締切／2016年12月22日(木)　◎定員／45名　（鹿児島）

人の成長なくして企業の成長なし　～人と組織の自立をめざした経営革新活動～

〈報告者〉
(株)九州タブチ
代表取締役社長
鶴ヶ野未央 氏

報告者会社概要
(株)九州タブチ
●設立：1970年4月
●社員数：160名
●パート・アルバイト：1名
●資本金：5,000万円
●年商：39億円
●事業内容：給水システム関連商品の開発と製造

多くのメーカーの生産拠点の海外移転が進む中、全従業員の25%ものリストラを断行し親会社に頼らない自立した工場にする必要に迫られた九州タブチ。そんな佳境にあって鶴ヶ野氏が実践したのはトヨタ生産方式をベースとしたモノづくり改革と、経営品質向上プログラムへの取り組み。生産性向上を人員の削減策とせず、時間・人財の有効活用で新しい価値を生み出すための経営革新活動として推進。これによって売上が27億から40億円へと成長。売上構成も7割変わるというドラスティックな展開に。また、同時期に鹿児島県初の経営品質賞大賞を受賞しました。本分科会では、契約社員から社長に昇りつめた鶴ヶ野社長の溢れんばかりの情熱を感じていただくとともに、生産ラインはもちろん総務スタッフの対応や、自主研究会の成果などを見学します。

第13分科会　【見学】　◎申込締切／2016年12月22日(木)　◎定員／45名　（鹿児島）

命を大切にする社会こそ真の平和につながる　～命を賭して日本の将来を託した若者に私たちは応えているのか～

〈報告者〉
特定非営利活動法人知覧特攻の母鳥濱トメ顕彰会 特別顧問
鳥濱 明久 氏

報告者会社概要
特定非営利活動法人 知覧特攻の母鳥濱トメ顕彰会
●設立：2013年4月
●事業内容：子どもから一般の方に対し、特攻隊の史実を伝える講演会や特攻隊慰霊祭などの事業を通じ、鳥濱トメの献身的精神を広め、気概ある先達の想いを継いで、社会教育に寄与することを目的としています。
●URL http://www.torihamatome.jp

〈報告者〉
いぶし社会保険労務士事務所
所長
飯伏 純也 氏

報告者会社概要
いぶし社会保険労務士事務所
●設立：1992年4月
●社員数：3名
●事業内容：社会保険及び労務管理に関する事務手続・相談。及び個別労働紛争処理業務。

薩摩半島最南端、終戦当時連合国の本土上陸を阻止すべく、439名の若者が二度と還らぬ特攻隊員として知覧(ちらん)から出撃していきました。特攻攻撃とは沖縄までの約2時間、飛行機に250キロの爆弾を積み、アメリカの艦船に体当たりを敢行するものです。知覧特攻平和会館を訪問し、展示してある隊員の遺書や出撃直前まで寝泊りしていた三角兵舎を見学します。また、隊員の若者たちから母のように慕われていた鳥濱トメさんの孫にあたる明久氏の話を聞くことにより、命の重さを改めて考えます。
(バスの中での全体討論を予定しています。)